

6/29

柿沼自動車有限会社がコシヒカリを町に寄贈

新型コロナウイルス感染症対策によりお米を必要とする子どもたちのために活用してほしいと、柿沼自動車有限会社（柿沼裕和代表取締役）より、コシヒカリ玄米 30kg × 10 袋が寄贈されました。



7/1

ボルトワン株式会社が布マスクを町に寄贈

新型コロナウイルス感染症対策のため町内小中学校の児童生徒に役立ててほしいと、ボルトワン株式会社（濱中良彦代表取締役）より、布マスク 2,200 枚が寄贈されました。



寄付に訪れた濱中良彦代表取締役（左）



6/23

寄付

株式会社ドン・キホーテがマスクとハンドジェルを町に寄贈

株式会社ドン・キホーテ境大橋店（森永誠店長）より、子どもたちが安心して安全な学校生活を送れるようにと、マスク 700 枚とアルコールハンドジェル 60 本が寄贈されました。



寄付に訪れた森永誠店長（左）



6/24

有限会社赤荻製作所がフェイスシールドを町に寄贈

有限会社赤荻製作所（赤荻藤一代表取締役）より、新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててほしいと、フェイスシールド 100 枚が寄贈されました。



6/21

境スポーツフェスティバル ～みんなでodorou～

6月21日（日）、境町サッカー場で、新型コロナウイルスの感染予防のため家で過ごす事が多い子どもたちに、思いっきり体を動かして欲しいと、NPO 法人境スポーツクラブ主催による、手洗いダンス教室とじゃんけん大会が行われました。開催にあたっては十分に距離をとり、非接触による体温測定や手指の消毒など、感染対策を行いました。じゃんけん大会では、境トリニタスのペナントやサイン色紙をめぐって熱戦が繰り広げられました。



ソーシャルディスタンスを保ちながらダンスを楽しみました

6/18・29

国蝶オオムラサキの羽化

石山征夫さん（大歩）が自宅で飼育している国蝶の「オオムラサキ」が、次々と羽化しています。オオムラサキは夏に現れる大型で非常に美しい蝶です。飼育小屋は一般の家族連れでも見学でき、6月29日（月）には、認定こども園バンビークンせいしょうの子どもたちが見学に訪れました。羽化は7月いっぱいまで。



オオムラサキの幼虫や成虫と触れ合う子どもたち

6/23

栃木県議会議員が境町を視察

6月23日（火）、境町のまちづくりを学びたいと、栃木県議会から西川鎮央議員と平池紘士議員が視察に訪れました。役場4階で橋本町長が境町の現状と、取り組みについて説明を行った後、新しく完成した施設を見学し、次々に施設が完成している境町の活気あふれる様子に関心を集めていました。なお、視察は3密を避け、感染対策を十分に行ったうえで実施いたしました。



境町の現状と取り組みを説明する橋本町長

6/20

境青年会議所による消毒液無料配布

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月20日（土）、境青年会議所による消毒液（次亜塩素酸電解水）の無料配布が文化村体育館東側サッカー場前駐車場で行われ、305名（代理含む）の方が来場し、460リットルを配布いたしました。

次亜塩素酸電解水は常温でどんどん効果がなくなっていくので、冷暗所に保管し、1週間以内に使い切ってください。また、加湿器等での噴霧には使用せず、手袋をして拭き掃除にご使用ください。



消毒液配布の様子

7/3

国道354号境岩井バイパス開通式

7月3日（金）、国道354号境岩井バイパスの一部である蛇池南交差点からふれあいの里前までの約0.8km区間が開通し、開通式が行われました。式では、開通に先立ち橋本正裕町長や参加者の皆さんが交通安全祈願を行いました。境岩井バイパスは、平成30年に事業化された「境古河バイパス」と併せて、新4号国道につながる境町の発展にとって重要な道路の一つとなります。早期全線開通に向け期待が寄せられます。



交通安全を願い開通式が行われました

AD